

平成２８年第８回猪苗代町議会定例会

町長説明要旨（１２／６）

本日、平成２８年第８回猪苗代町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には何かとご多用の中ご出席をいただき、ご審議をお願いできますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

今議会が開催されるにあたり、平成２８年度一般会計補正予算案など、重要な議案を提出いたしておりますので、ご審議をお願いするとともに、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

提出議案の説明に先立ちまして、当面する町政の諸課題につきまして、所信の一端を申し上げたいと存じます。

（道の駅猪苗代について）

はじめに、先月１９日に、皆様のご協力をいただきまして、無事開所式を行いました道の駅猪苗代について申し上げます。

当日は、国・県の関係機関、議員の皆さん、近隣市町村の首長、用地協力者、施工業者等約２００名による「開所式」に引き続き、午後からは株式会社道の駅猪苗代主催によるオープンセ

レモニーも盛大に挙行することができました。

これもひとえに、町議会議員の皆様のご理解ご協力による賜物と感謝申し上げる次第であります。

今後は、「ひと・もの・情報をつなぎ、会津をそして猪苗代を元気にする」道の駅として、風評被害の払拭、地域の元気創造、安全・安心の情報発信を行うとともに、道路利用者の利便性の向上と施設利用促進を図り、復興再生の象徴となる施設として、重要な役割を果たすものと大いに期待しております。

今後も町民各位のご理解とご支援を賜りながら、所期の目的に向けた健全な運営を心掛け、引き続き努力して参る所存でありますので、議員各位のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

（平成２９年度予算編成方針について）

次に、平成２９年度の予算編成方針について申し上げます。

本年１０月の内閣府発表による月例経済報告では、「景気は、このところ弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」としております。

しかし、「海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがあり、英国

のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」としております。

また国では、本年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2016」において、平成29年度予算編成の基本的な考え方として、『特に「公的サービスの産業化」、「インセンティブ改革」、「公共サービスのイノベーション」をはじめとして、歳出改革の持続性を強めるとともに、国庫支出金等についても精査と見直しを徹底し、主要分野ごとの改革の取組を大胆に推進するためメリハリの効いた予算とする。』としております。

一方、福島県が発表した「最近の県経済動向」による県内10月期の経済情勢は、「県内の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、着実に持ち直している。」と報告されておりますが、生産活動面では「弱い動きが依然として続いている。」とし、物価面においても企業物価指数及び消費者物価指数ともに前年を下回る動きが見込まれます。

こうした中で、震災後5年8ヶ月が経過し、本町への一般観光客は震災前の入込み数に戻りつつあるものの、なお教育旅行等は震災前の水準には回復していないなど、本町の地域経済は、依然として厳しい状況が続いております。私は何よりも

本町の復興に向けたさらなる取り組みが、絶えず求められていることを、ひと時も忘れてはならないと肝に銘じているところであります。

また、本年10月に総務省が発表した平成27年国勢調査の確定値による本町の人口は、

15,037人、高齢化率は34.1%であり、人口減少・少子高齢化への対処が、本町のみならず我が国の喫緊の課題となっております。

さらに平成29年度は、「第七次猪苗代町振興計画」のスタートの年でもあることから、第六次振興計画の評価を踏まえ、第七次振興計画の実現へ向けたスピード感のある事務事業の遂行が強く求められているところでもあります。

さて、本町の財政状況等につきましては、歳入の根幹である町税収入が平成29年度以降も減少する見込みであり、総務省が本年8月に公表した「平成29年度の地方財政の課題」によれば、地方交付税の財源不足が拡大し、地方交付税総額（出口ベース）の平成29年度当初要求額は16兆円弱であり、平成28年度比で4.4%の減額となった一方、「平成29年度地方債計画(案)」での臨時財政対策債の額は、対前年度比24.5%の増額となっており、財源を確保するため起債に頼らざるを得ない状況が続くと考えられております。

一方、歳出につきましては、限られた財源を有効に活用するため、経費の削減と見直しを行い、行政のスリム化に努め、扶助費等の義務的経費はやや減少傾向にあるものの、大規模事業、都市計画及び生活関連の道路などの社会資本整備、施設管理経費の増加、人口減少・少子高齢化対策など多額の財政需要が見込まれております。

また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づいて平成27年度決算から算出した各種指標は、前年度よりも一部改善しているものの、依然として厳しい状況にあります。

指標のうち一般会計が負担する元利償還金と公営企業への繰出金の一部が算入される実質公債費比率は9.8%、将来負担比率についても67.8%となり、いずれも前年度と比較して減少となりました。

しかしながら、平成29年度以降も中学校統合事業などの大規模事業が予定され、引き続いて起債事業の選択は、振興計画及び過疎計画に位置づけた事業であってもさらに厳しく選別を行い、慎重かつ適正な判断を行ってまいります。

これらを踏まえ、平成29年度当初予算編成の基本方針としては、本年度同様に自主財源の根幹である町税収入の減少が見込まれるなどの厳しい

状況下にあるとはいえ、第七次振興計画の実現と、震災からのさらなる復旧・復興に向けた事業への重点化を図ることといたしておりますので、町民各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

（水稻等の収穫状況について）

次に農業情勢について申し上げます。

水稻の生産調整につきましては、本年度本町に配分されました生産目標数量 9,751 トンに、東日本大震災などにより作付けが出来ない地域から買い入れる市町村間調整数量 200 トンを加えた計 9,951 トンに対し、生産量は 9,752 トンとなり、数量で 98.00 パーセント、面積では、目標面積 1,633.7 ヘクタールに対し、作付け面積は 1,627.9 ヘクタールで、99.65 パーセントとなり、共に目標数値以内を達成することができました。

これもひとえに、農家の方々のご理解とご協力によるものであり、改めて感謝申し上げます。

さて、本年の水稻の収穫状況ではありますが、おむね気温・天候に恵まれたことから、会津地方の作況指数は「102」の「やや良」となりまし

た。

集荷実績としても、J Aが米生産農家に支払う本年度の概算金は、昨年を大きく上回っており、一等米比率も約98.3%となり、昨年を上回る結果となっております。

また、そばにつきましては、は種直後の8月上旬の豪雨やその後も雨の多い天候の影響で、収穫量は例年より減少しましたが、生産者や関係者の努力によりまして高品質のそばを生産していただき、今年の等級検査の結果、そば乾燥調製施設で処理されたものは、全て一等となったところです。

今後、J Aはじめ関係機関と協力しながら、本町農産物の高品質をPRし、販売促進とブランド化を図って参りたいと考えております。

（雇用情勢について）

次に、雇用情勢について申し上げます。

厚生労働省福島労働局の情報によりますと、県内の来年3月卒業予定の高校生の求職者数は9月末現在で4,706人、うち、就職内定者は2,970人で就職内定率が63.1%、前年同期と比較して6.4ポイントの増加となり、3年連続で50%を超える高水準となっております。

そのうち、県内ハローワーク受理求人への内定

者は2,245人で、県内比率は75.6%となっております。

また、町内企業に若者の雇用拡大を図るため、「新規学卒者等就職支援奨励金」や「創業支援制度」等の周知に努めるとともに、町無料職業紹介所では、求職者への相談窓口の充実と求人情報を定期的に届けて参ります。

（中心市街地の活性化について）

次に、中心市街地の活性化について申し上げます。

中心市街地については、人口減少や景気の低迷、大型店の進出等により空き店舗が増加し、その対策が求められてきました。

そのため、昨年度から「猪苗代町新規創業者等支援奨励金」を創設するなどして空き店舗対策に取り組んできたところでありますが、11月より、旧そば情報館がリラクゼーションスペース「もみの樹」としてオープンいたしました。今後、町民の健康増進や中心市街地活性化の一助になればと期待を寄せております。

また、町では、引き続き商工会や関係団体と連携し、プレミアム商品券発行事業をはじめ冬季間のイルミネーション事業などを実施し、中心市街

地の活性化と観光地としてのイメージアップを図って参りたいと考えております。

（観光振興について）

次に、本年 9 月以降の観光振興について申し上げます。

はじめに、11 月 1 日には福島県などが主催する「ふくしま七転び八起き観光キャラバン」が東京都内で開催され、200 名を超える旅行会社の関係者が出席いたしました。町と観光協会では商談会に参加し、旅行会社 36 社に対し本町観光の魅力を P R するとともに旅行商品の造成をお願いいたしました。

また、11 月 8 日から 11 日にかけては、町、観光協会、福島県会津地方振興局の主催による「教育旅行誘致九州キャラバン」を行いました。

鹿児島県、宮崎県、福岡県の高等学校 23 校と旅行会社 10 社、新聞社 1 社を訪問し、原発事故後の正しい情報を伝えるとともに、教育旅行の誘致をいたしました。今後も、県並びに関係機関と連携を深め、本町の観光振興につながるよう取り組んで参りたいと考えております。

（風評被害対策について）

次に、風評被害対策の進捗状況について申し上げます。

昨年度に引き続き、県外の学校を対象として本町への教育旅行を実施する場合、バス代を助成する「猪苗代町教育旅行支援事業」を実施しております。

バス1台あたり5万円の補助と、旅行会社には取扱手数料として1校あたり2万円を交付したことから、4月から多くの申し込みをいただいたところであります。現在まで、小・中・高校あわせて143校、バス434台分の申請があり、参加人数は引率を含め15,993名となり、前年度比較で約50%の増加となっております。

なお、猪苗代観光協会の調査によると、本年度の教育旅行の宿泊者数は42,250人で、前年度比で7.5%の増加、震災前の平成22年度と比較すると65%となっており、徐々にではありますが回復している状況にあります。

また、12月1日からは冬季の誘客対策として、猪苗代観光商品券「いなチケ」の販売を開始するとともに、年明けからは、県外からの宿泊者を対象とした、「ゆきいち事業」も実施いたします。

さらに、スキー場においても、町内6スキー場の共通シーズン券が今年から販売されたほか、

19歳のリフト券が無料となる「雪マジ19」や20歳から22歳の平日リフト券が無料となる「雪マジふくしま」が今シーズンも実施されることから、関係団体と連携を図りながら冬季シーズンの誘客活動を進めて参ります。

（原子力損害の損害賠償請求と支払い状況について）

次に、東京電力の町内事業者に対する損害賠償の状況について申し上げます。

東京電力ホールディングス株式会社社会津若松補償相談センターからの情報によりますと、10月末現在の本町事業者に対する損害賠償金の支払額は、延べ3,450件で、約177億9千万円となっております。

町東日本大震災風評被害対策会議では、引き続き毎月第2、第4木曜日に町商工会で開催される会津若松補償相談センター主催の相談会について、町民の皆様にチラシを組回覧して損害賠償請求漏れがないよう努めて参ります。

（文化の振興について）

次に文化の振興について、申し上げます。

10月6日より4日間開催いたしました「野口

英世記念ばんだい高原国際音楽祭２０１６」では、
２，２４３名の皆様に、「学びいな」ほか、町内各
所での演奏会にお越しいただき、国内外の演奏家
によるすばらしいクラシックの演奏を聞いてい
ただきました。

また今年で１５回を数える「母から子への手紙
コンテスト」では、全国より１，４２３通の応募
があり、１１月２日に最終選考会と審査結果発表、
去る１２月４日に表彰式を行い、町外よりお越し
いただいた受賞者の方々を「猪苗代町お母さん委
員会」の皆様とともに、歓迎いたしました。

そして、国指定史跡会津藩主松平家墓所の保存
整備事業については、平成２２年度より国・県の
補助金を活用し、参道・石造物などの修理工事を
中心に実施してまいりましたが、本年度の参道６
期工事で完了いたしました。

土津神社を訪れる参拝客も年々増加し、現在は
年間約８万人を数える様になり、観光資源として
也大いに活用されております。

今後も、文化の振興と文化財の保存、活用を図
り、文化の香り高い町づくりに努めてまいります。

（スポーツの推進について）

次にスポーツの推進について、申し上げます。

今年も、10月23日に開催した「猪苗代湖ハーフマラソン2016」と26日に開催した「第61回福島県高等学校駅伝競走大会」では、多くのランナーや応援の皆様が、町内外からお見えになりました。

これらのイベントを通して、多くの町民の皆様には、ボランティアとして活躍していただき、全町民を上げて、温かい「おもてなしの心」で、本町に来られた皆様をお迎えすることができました。

今後も「スポーツ振興宣言の町」として、「オリンピックの事前キャンプ」や「全国高等学校空手道選手権大会」などさまざまなスポーツイベントを推進し、猪苗代の自然や文化のみならず、ここに暮らす人々のすばらしさを、内外に発信してまいる所存であります。

最後に、本定例会に提出いたしました議案について申し上げます。

提出いたしました案件は、
専決処分の報告案件が6件、
専決処分の承認案件が1件、
平成28年度補正予算案件が6件、
条例の制定案件が2件、

そして、条例の一部改正案件が４件の
計１９件であります。

各議案の細部につきましては、それぞれ所管する担当課長に説明いたさせますので、慎重にご審議のうえ、速やかなご議決を賜りますよう、お願い申し上げます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。